

日本労働総同盟九州聯合會第八回年次大會狀況

- 一、日時 昭和十年十月二十八日自午後七時二十五分至同十二時二十分
- 二、會場 小倉市 製粉小倉労働會館
- 三、參加者 代議員一二〇名（内女一〇名）本部員一〇名計一二〇名
- 四、會場に附けたるスローガン
  - 産業と労働の統制法を作れ
  - 全産業の暴逆を撃て
  - 福岡縣産業委員會の設立
  - 労働組合法の即時制定
  - 臨時工及人夫名義制廢絶對反對
- 五、大會の内容
  - 日本労働総同盟九州聯合會第八回年次大會萬歳

1、開會の辭 主 事 久 保 時 造

九州が大會を持つ事八回前も製粉の人達が協力一致して造つた此の城塞で二回目の大會を迎へた。

最も困難な北九州の労働運動に誘はれる者々の喜びに堪へない事は同志元敵君が本部より派遣せられ非常なる努力をされてゐることだ。

今や筑豊炭田、北九州工場地帯は異常インフレで資本家は非常なる利潤を上げてゐる、然し吾々の賃金は上つてゐない、若々の陣營の非常時である今日茲に第八回大會を開き過去一ケ年の闘争を檢討し次の一ケ年の方針を決定する重大な會戦である最も慎重真刻に審議せよ

2、 副領則 議長（會長） 伊藤 卯 四 郎

日本労働総同盟福岡出張所

3、 議長挨拶